

自律・協働・参画



笹塚中だより



渋谷区立 笹塚中学校（令和8年5月11日発行）

校長 濱島 美佐子

5月の風が爽やかに吹いています。朝と夕の寒暖差は激しいですが、気温が上がっても湿度が低いので、実に爽やかな季節を味わえてやはり5月は素敵だなと思います。

東門入ってすぐの大本は「くすのき」です。その隣にあるのは、「サルスベリ」です。とても背が高い「サルスベリ」なので、夏場にピンクの美しい花を咲かせますが、上を見ないと気付かないくらいです。くすのきは薄緑の新芽を付けて本当に美しいです。

さて、渋谷区公立中学校の特色作りについて、ずっと述べていますが、いよいよ渋谷区教育委員会のホームページにも具体的な内容がアップされました。本校もそれを受けて、ホームページのトップページ写真下にアップしています。ぜひ、ご覧ください。

テーマを「体験を力に、世界へ、未来へ踏み出す笹塚中学校」 ～グローバル・アントレプレナーシップ～

としました。

今までの笹塚中の特色を書き出すと、「稲作」「ビオトープ」「笹中ソーラン」「十五祭」「神輿かつぎ」「たけのこ」など、オヤジの会、地域の皆様、保護者の皆様に支えられる中で、多くの特色ある取組や豊かな自然に恵まれてきたことが改めて感じられました。

この要素に「グローバル」と「アントレプレナーシップ」を掛け合わせて、上のテーマを作りました。笹塚中での学びを活かし、世界へ、未来へ踏み出す挑戦するマインドを育てていきたいと思います。

その第一歩として、5月28日、カナダからの大学生が24人、笹塚中を訪れます。彼らは「食」について研究しているそうです。そこで日本の「給食」を実際に見てみたい、という目的をもって来校します。日本では、当たり前前に生徒が白衣を着て配膳もします。そうした姿もぜひ見たいということだそうです。生徒の皆さんはぜひ、「誇り」をもって見せてあげてください、と朝礼で話しました。

今、世界では日本の「特活」が注目されていて、「掃除」を生徒が毎日行う姿や「学校行事」にも賞賛の声が上がっているそうです。実際にエジプトでは、元校長たちがエジプトの指導主事として、教育現場に「TOKKATSU」を導入するため、派遣されています。私たちの日々の取組で生徒たちの心を育てていることに世界が注目してくれていることは本当に誇らしいことだと思います。

さて、5月は3年生の修学旅行、運動会、と目白押しです。運動会の練習も始まり、大きな掛け声が校庭中に響き渡っています。皆で協力し、素晴らしい行事を作り上げていきましょう！！



令和7年度の十五祭神輿担ぎと稲刈りの様子

十五祭 令和8年3月15日(土)の様子



令和7年度、PTAの予算で新しい臼を2つ買っていたきました。去年の3年生は新しい臼で餅つきを行いました！新しい臼に熱湯を入れてあく抜きをオヤジの会がやってくれました。



オヤジの会の皆さんが朝6時から雑煮や餅つきのためのもち米を炊く準備をしています。



もち米を何回も何回も大量に炊いています。



こちらはオヤジガールズの皆さんと保護者ボランティアの皆さんです。お雑煮を作ってくださっています。



3年生による神輿担ぎがよいよ始まります！



横断歩道を渡ります。道路を通るための許可を警察にとっています。



10号通りを通ります。通行人のご協力をいただいて練り歩きます。電線は神輿のてっぺんの鳳凰がひっかからないようにオヤジの会が棒で持ち上げます。



途中、北親町会の皆様が休憩所を用意してくださっています。こちらで生徒も休憩を取らせていただきました。北親町会の皆様、本当にありがとうございました。



笹中校庭に戻ってきました。1,2年生が出迎えてくれました。



3年生は最後に、餅つきを行いました。一人一人が順番に全員が行いました。



斉藤農園長もお越しくださり、餅つきのお手本を見せてくれました。さすがの迫力でした！

この後、全員でお雑煮をいただいて十五祭が終わりました。本当に最高に美味しいお雑煮でした。この日のために、何日も前から準備したり、当日早朝から準備したりしてくださったオヤジの会の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。3年生は皆様の愛情を胸に、元気に巣立ちました。

